



競技注意事項

競技一般について

1. 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走基準及び本大会申し合せ事項に基づいて行われる。
2. 中継にはたすきを用いる。たすきは必ず肩にかけること。たすきは必ず前走者と次走者の間で手渡さなければならない。たすき渡しに際して、前走者がたすきを外すのは中継線手前400mから、次走者がたすきをかけるのは中継後200mまでをおおよその目安とする。
3. 競技者は車道を通行する時、車両通行帯が設けられている場合、左側の車両通行帯の左側、設けられていない場合は、車道の左側を通行すること。また、交差点ではコーン誘導に従うこと。
4. 走者が大会・競技役員からの指示なく走路から退去すると、その後の競技は続行できない。
5. 走者はいかなる場合も、飲食物を携帯、飲食することはできない。
6. 競技中に大会・競技役員から競技中止を命じられた走者・チームは直ちに競技を中止しなければならない。
7. 一区間の途中で走者を交替させることは出来ない。
8. 走者が途中で競技を続行することができない状態になったとき、または競技中止を命じられた場合、該当チームのその区間の競技を無効とする。但し、そのチームは審判長の指示に従い、次の走区からの次走者から競技を再開できることがある。この場合はそのチームの総合記録は認められない。但し、競技を中止あるいは続行不可となった区間以前の区間記録は認め、以後の区間記録については参考記録とする。
9. 中継は、中継線から進行方向20m先の白線の間で中継しなければならない。
10. 中継線手前でたすき渡しが行われるよう、次走者は中継線から1m先方に引かれた線より前に立つこととする。
11. 競技中に不慮の事故が発生した場合、応急手当はするが、それ以上の責任は取らない。また、大会要項や競技注意事項に対する違反行為により生じた事故については、主催者側は一切責任を負わない。
12. 伴走(またそれと疑わしき行為含む)は一切認めない。
13. スタート位置に関しては、前日の代表者会議の際に抽選により決定する。オープンチームについては主催者で指定する。
14. 緊急車両(救急車等)の通過・横断を最優先とする。審判員から制止を求められたら競技者は競技を一時中断し、緊急車両の通行を妨げないこと。また、その時のロスタイムは考慮しない。
15. オーダー用紙提出後の選手変更および区間の変更は認めないが、オーダー用紙提出後に競技者に急病、その他重大な故障が生じた場合のみを認める。但し、正チ



ーム・オープンチーム共に事前に登録した補欠選手とその区間走者を交代すること。変更をする場合は12月2日（日）午前7時10分までに所定の用紙に記入し、診断書を添えてスタート地点（賀茂川北大路橋東側）の大会総務まで申し出ること。但し、急病で診断書が手に入らない場合は、後日、診断書を関西学連事務所まで送付すること。

16. 繰上げ出発について

繰上げ出発は、第3・4・5中継所において適用される。審判長または各中継所主任の判断により、先頭走者の通過5分後に繰上げ出発を行うこととする。

17. 招集について

第1招集、第2招集（最終招集）とも中継点にて行う。

	1区	2区	3区	4区	5区	6区
第1招集時刻	7:50	8:10	8:30	8:55	9:10	9:30
第2招集時刻	8:00	8:20	8:40	9:05	9:20	9:40
先頭通過予定時刻	8:10	8:33	8:49	9:13	9:28	9:48

※第1招集については代理人を認める。

18. 追い越し禁止区間について

御薙橋東側の河川敷付近を一部、追い越し禁止区間とする。なお、追い越し禁止区間は、2・4・5区間で適用する。その区間内で追い越しを行った選手および大学は失格とする場合がある。（追い越し禁止区間については別紙参照）

大会車両について

1. 伴走車は一切認めない。
2. 大会車両以外の車は、競技中いかなる理由でも選手列中に立ち入ることを禁ずる
3. 監督・コーチ及び応援者といえども1、2を厳守すること
4. 選手の配置・回収など大会当日に生じた事故について、大会本部は一切責任を負わない

競技結果または競技実施に関する抗議について

1. 抗議は、フィニッシュ地点（京都産業大学）の大会本部にて申し出ること。
2. 抗議は神山ホール内の記録掲示板にて総合成績発表を行ってから30分後まで受け付ける。抗議は、競技者自身または代理人あるいは監督〔責任者〕から口頭によつて審判長に行うものとする。競技結果が変更された場合の正式発表は神山ホール内



の記録掲示板にて行う。

その他

1. たすきは各チームで作成し、12月1日（土）の代表者会議で認印を受けること。
繰り上げ出発の際のたすきは、主催者で用意し、該当チームに配付する。
2. ゼッケンは各チームで白地に黒字（オープンチームは赤字）で作成し、胸・背部に外れない様に付けること。（下図参照）
3. 閉会式は競技終了後、京都産業大学構内にて行う。各大学代表者、および表彰を受ける選手は必ず出席すること。
4. 選手の持ち物には全て大学名、氏名を明瞭に記入すること。特に、貴重品の管理は各自の責任のもとで厳重に行うこと。
5. 大会当日、大会規則並びに選手注意事項に対する違反行為や、大会役員、競技役員、補助員、警察官に従わない行為等があった場合、失格とすることがある。

